



国際会長 (IP) Jacob Kristensen (デンマーク)

“TRUST IN THE RIVER OF LIFE”

「命の川を信じよう」

会長 古賀 健一郎
副会長 金子 功
書記 金子 功
会計 大高 治
直前会長 古田 和彦

アジア太平洋地域会長 (AP) David Lua (シンガポール)

“Make a difference” 「変化をもたらそう」

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 奥菌 一紀

東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

「変化を楽しもう」

“Let's enjoy 'Changes' ”

湘南・沖縄部部長 (DG) 古田 和彦 (横浜)

「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「クラブ創立 90 周年の恵みの中、YMCA と共に未来を開く」

“Blessing of club 90th anniversary, open the future with YMCA”

<今月の聖句>

佐竹 博

わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。

(ヨハネによる福音書 14 章 27 節)

今月のひとこと

『90年の歴史の恵みに感謝して』

古賀 健一郎



見えない新型コロナウイルスに翻弄される日々の中、7月からワイズも新年度を迎え、この度私はクラブ会長の大任を仰せ付けられました。横浜クラブ創立90周年という大きな節目の年であり、身の引き締まる想いです。今年度のクラブの主題に、「クラブ創立90周年の恵みの中、YMCAと共に未来を築く」を掲げました。

この機会に、今一度クラブの貴重な歴史を振りかえり、それぞれの時代での事象について、諸先輩のお考えや行動を見つめ直してみたいと思います。そこからの学びを通して、クラブの未来に活かしていければと思っています。

ジャック・アタリ氏 (経済学者・思想家) は「パンデミック

という深刻な危機に直面した今こそ『他者のために生きる』という人間の本质に立ち返らねばならない。協力は競争よりも価値があり人類は一つであることを理解すべきだ」と主張します。私は、差別や分裂が以前より目立っている現状において、「人々とのつながりの輪」の大切さに気づかされます。

(4月に会員に送られた)ワイズの国際協会の会長のメッセージは「この危機の間、社会的なつながりを維持することはこれまで以上に重要であり、コミュニティーに所属しているという強い気持ちは、私たち全員が前向きであり続けるのに役立ちます」と語ります。

私共の横浜クラブは1930年12月15日の創立です。1923年の関東大震災時の瓦礫を埋め立てて出来た山下公園が開園した年でもあり、その5年後震災復興大博覧会が同公園で開催されました。震災で建物を焼失した横浜YMCA(創立1884年)と共に関東大震災からの救援・復興活動に貢献しました。横浜の地で、協働体制を育ててきた横浜YMCAと共に、ワイズの光を灯し続けてきました。このように長きにわたって築かれてきた「人々とのつながりの輪」こそが、私共のクラブの90年の歴史の恵みの賜物だと思っています。

あるテレビ番組の中で、イアン・ブレマー氏(国際政治学者)は「このコロナ危機を乗り切るために私たちの生き方とは?」の質問に、「犬を飼うべきだと思います」と答え、インタビューが「それはどういう意味ですか?」と少々戸惑って問い返すと、「犬はいいですよ。一緒にいると気持ちが落ち着きます。バカバカしいと思うかもしれませんが、実効性があります。人間性を失ってははいけません。私は9.11の時にニューヨークにいました。恐ろしい出来事でしたがニューヨークは団結しました。人々は通りに出て、友人に家族に手を差し伸べました。しかし今回、人々はアパートの中に安全を求めています。人間性が奪われています。人は社会的な動物です。」

<2020年6月例会実績 Zoom 開催>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メン 9名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 9名	75 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 現金 年度累計 切手 現金	0g 0円 0g 0円

<7月の行事予定>

キックオフ、Change!2022

日	曜	時間	行事内容	場所
09	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
25	土	15:00	第一回部評議会	中央Y

つながりが必要です」・・・と。

クラブの主題に想いを込め、長いクラブの歴史の中で、楽しい時に加え、苦しい時代も生き抜いてきた諸先輩に想いを馳せ、それぞれの方々の時空を超えた「つながりのぬくもり」を体を感じながら歩んでいきたいものです。

このコロナ渦にあって、湘南・沖縄部での有志が立ち上がった「つながりマスク」の呼びかけに、私も妻（メネット）と一緒に参加し、横浜YMCAの関係団体にマスクを届けることができました。最も弱い立場に置かれた人々への、祈りと命を守る行動は、過去の歴史の中で、まさしく諸先輩が既に実践されてこられました。こうした「90年の歴史の恵みに感謝」しながら、私たちもまた、ワイズ・YMCA・地域の方々と心を一つに連帯し合って、この困難を乗り越え、気持ちも新たに、希望ある未来を切り開いていきたいと思ひます。

「第一例会報告」

古田 和彦

日時 : 6月19日(金) 18:30~19:50

開催方法: Zoomによる開催

出席者 : 伊藤、大高、奥菌、金子、古賀、齋藤、佐竹、田口、古田

第1例会を初めてZoomで開催した。5月第2例会を役員



Zoom 例会に参加の皆さん

達で行った結果、例会として開催可能と判断した。まず、Zoom 例会を開催できた最大の理由は、茨城クラブの片山ワイズのご協力があり、当クラブ古賀ワイズが細かく説明などを取り次いでくれたため、改めて両人に感謝します。

定刻、金子ワイズの司会により開会。古田会長の開会点鐘はクリスマス飾りのベルで行われ、挨拶ではZoomにより4か月ぶりに例会が開催された喜びが語られた。聖書朗読は、松島ワイズ欠席のため、古田ワイズが代読。続いて古田ワイズにより祈祷がささげられた。

通常は、この後、食事となるが、当面、例会での飲食は行わないこととしているので、今回はすぐ、ビジネスに入る。

まず、来月7月からの次年度、会長を務められる古賀ワイズから、クラブ運営方針が示された。90周年を迎える年度にふさわしく、歴史を振り返り、学び、その中から活動を整え直していく旨力強く発表された。次いで、総会のための諸資料の準備状況が確認され、第2例会には内容をチェックできるようにそれぞれ準備することとした。続いて、7月第1例会の持ち方について協議。結論は、内容として、総会、入会式、部長公式訪問を入れること、会場を横浜中央YMCAとし、対面の会とするが、体調不良者や遠距離者に配慮してZoomによる出席も可とすることとした。その他予定等を確認した。

Happy Birthday 該当者はなし。また、本日業務のため欠席であるが、6月末で退会される大江浩ワイズから古田会長に挨拶が託されており、その一部が紹介された。例会報告は古田ワイズ。19:50 古田会長の点鐘で閉会した。

「近況:檸檬の木」

金子 功



我が家の庭には柚と金柑の木がある。柚の木は40数年前に植えた記憶がある。沢山の実をつける年とそうでない年がほぼ交互にやってくるが、豊作の年には500個~600個の実をつけて楽しませてくれる。妻はジャムを作るほか、冬

至には30個余りの柚を湯槽に浮かべる贅沢もしている。

金柑の木はほぼ20年前に植えたものだが、苗木が育って今や、数メートルの高さになり、こちらも数100個の実をつける。妻は、金柑の甘露煮を作って近所の友人を喜ばせている。

我が家の庭は東南の角地で、柑橘類の木には適しているのではないかと、数年前に檸檬の木を植えた。「実をつけるまでには5年は掛かりますよ」と言われ、私が生きている内に実がなるか不安と期待を持って毎年花が咲くのを待っていた。その檸檬の木に今年はかなりの花が咲いた。花が散っていくつかの小さな檸檬の実がなったが、ポロリ、ポロリと落ちて、今や3個になってしまった。但しこの3個は元気に成長している。収穫のこの秋が楽しみである。

「禍転じて福と為そう」(2 of 2)

大高 治

耳慣れない言葉が賑わっています。濃厚接触、無症状感染者、Social Distance, 3密、クラスター、ロックダウン、オーバー



シュート、医療崩壊、緊急事態宣言、B C、AC。対応面では Teams、Zoom、Telework に代表される在宅勤務やリモートオフィス、更に時差出勤、時差授業やオンライン授業、遠隔医療などの価値が再確認されつつあります。IP

S細胞の山中教授は「コロナとの闘いは長期戦になる」と言い、分子生物学者の福岡伸一教授は「コロナは絶滅出来ない」と言っています。数多くの疫病の中で封じ込めに成功したのは天然痘だけです。ワクチンや治療薬が出来ても、インフルエンザのように人類と共に生き続けるというのであろうか。

世界は人類の大往来時代の真ただ中にあります。コロナウイルスは人間と共に動きます。感染を防ぐには人間の接触を出来るだけ避けられる新しい方法を見出して、ビジネスのやり方や諸々の活動の仕方を変えなければなりません。人類は犠牲を伴いながらも今日まで生き延びて来ました。最適な方法は見つけれられると思います。五十日の混雑はまだ続いています。教育界から中央官庁、地方行政、企業の経済活動等の多方面に渡って、旧習を打ち破れるハードとソフトは使われ始めています。オリンピック時の混雑緩和を考慮して在宅勤務を2年も前から実行している会社があるそうです。

これらを更に推進することによって、長い間の日本の課題であった「働き方改革」が進み、先進7カ国中最下位のホワイトカラーの労働生産性の向上が期待されます。端的に言えば、「世の為人の為、人に会わずに仕事する」ことを共通の課題として、企業や役所等の組織内の改善に留まらず、組織対組織、組織対市民、医師対患者等の関係改善が進めば、それが社会・経済インフラの有効活用になって、生産性の向上につながるはずです。往復3~4時間もの通勤時間は教養や健康増進に活用出来ます。

ある学者はこれをAC (After Coronavirus) における「第四次産業革命」と呼んでいます。産業構造が変わり、淘汰される分野も出るでしょう。所得格差は更に開くでしょうが、少なくともこの1~2ヵ月でTeleworkの効果を認識したという財界人が現れたことは大きな前進です。100年前のスペイン風邪での犠牲者は生産年齢層が最多でしたから、経済上の打撃も大きかったはずですが。だが以後の回復は急速だったと最近発表されました。100年前と今日では国際的な係わりや協力体制が大きく異なります。その中でいち早く危機を脱するや情報戦を展開して、覇権主義の芽を出そうとする国もあります。コロナは何処へでも飛んで行きます。南北問題や東西問題の改善を図る絶好のチャンスです。自国のみで解決してもコロナはまた他国から戻って来るのです。

(紙面の制約上、当「福転じて福と為そう」は6月号と7月号に分割して掲載しました、前半部分は6月号をご覧ください)

「第4回部評議会報告」

古田 和彦

日時：6月19日(金) 18:30~19:50

1. 開催日時・場所・方法

本来は6月20日(土)に横浜中央YMCAにて開催の予定であったが、新型コロナウイルスのため、第3回同様、メール

及びファックスを利用して開催した。

- 1) 議案提出・報告提出：6月10日(水)
- 2) 議案郵送：6月15日(月)
- 3) 議案審議：6月15日(月)~19日(金)
- 4) 採決：6月20日(土)~22日(月)
- 5) 結果報告：6月27日(土)

2. 上記の日程で審議され、過半数の出席があり評議会は成立した。

3. 議案とその採決結果

- 1) 第1号議案「第3回部評議会(2020年4月18日開催予定をメール、ファックス利用で開催)議事録について」は、承認された。
- 2) 第2号議案「2020~2021年度部長方針と行事計画について」は承認可決。
部長主題「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共にYMCAに仕えよう」
- 3) 第3号議案「次期部役員の承認について」は承認可決。
当クラブからは古田ワイズが部長、伊藤ワイズが書記を担当する。
- 4) 第4号議案「次期部監事の承認について」承認可決。
監事として峯尾舜ワイズ(金沢八景クラブ)が就任する。
- 5) 第5号議案「次期部選出代議員の承認について」承認可決。
部選出代議員は鈴木茂ワイズ(横浜つづきクラブ)。
- 6) 第6号議案「2020~2021年度予算原案の提示について」承認可決。

年度収入合計 401,000円 年度支出計 340,000円
年度収支差 61,000円

4. 各事業主査活動報告、各クラブ会長活動報告、各委員長活動報告が書面で行われた。

以上が概要ですが、横浜クラブは部長選出クラブであり、次年度運営には協力支援をお願いいたします。

「退会ご挨拶」

大江 浩



私の退会のご挨拶を兼ねた皆様へのメッセージ(新型コロナ第3弾)です。

初めに2015年7月に入会以来5年間、横浜ワイズの皆様との繋がりと交わりに深く感謝致します。新型コロナウィルスの影響によりワイズの活動も試練の只中にあり、また横浜ワイズ設立90周年という大切な時に退会となりますことを誠に申し訳なく思います。今年4月より務めます社会福祉法人興望館では7月より常務理事を拝命するため、その職務に注力すべく熟慮を重ねて、この度の退会を決意致しました。

私とワイズとの出会いは1989年に入会した神戸ポートワイズに遡ります。同ワイズメンバーの一人は大野勉氏(ワイズ西日本区元理事)でした。YMCAにとってワイズは日常のみならず、災害時においても最大最強のパートナーで、いつも励まされてきました。心からお礼を申し上げます。

3月例会では中村哲先生の働きやJOCs、自身のアフガニスタンの支援現場体験を卓話する予定でした。コロナ禍のためその役目は果たせていませんが、いつか機会が訪れます

ように祈っております。

次に興望館は、日本キリスト教婦人矯風会の外国人宣教師によって興されたセツルメント団体（創立1919年）で、現在の事業の柱は保育園・児童厚生施設、児童養護施設です。

同じ墨田区の賛育会、本所賀川記念館や東京YMCAとも深い繋がりがあり、東京北ワイズを中心とする当館後援会や100年の歴史を共に歩んだ地域の人々にお支え頂いています。

興望館は100年前、キリスト教精神に基づく困窮する女性や子ども達の人権擁護や家庭・地域の社会的救済のために始まりました。設立当時はスペイン風邪の世界的流行の時代でした。世界中で推計5億の感染症例があり、5,500万人(推計)の死者が出たまさに感染症クライシスでした。

興望館は、貧困にあえぐ地域住民の生活改善がセツルメントの使命の一つであるとして地域に根差した保健医療も行っていましたが、命がけの「戦場」のような状況だったことでしょう。しかしその働きを支えたのは、「絶望の中にあっても人々は必ず、救える」という理想と希望であり、またそれは主が示す道であるとの確信があったのだと思います。

興望館は、コロナ禍にあっても保育園・学童保育や児童養護施設はずっと活動を続けています。子どもたちの命を育み支える保育と養護は感染リスクを伴いながらの現場であり、政府の経済中心のコロナ支援からは見えない、社会の縮図とリアリティが見えますが、そこにミッションがあります。

5月号の聖句「わたしは弱いときにこそ強いからです」(コリントⅡ12:10)を信じています。横浜ワイズ並びに湘南・沖縄部の益々のご発展と共に、皆様の上に主のご加護がありますよう心からお祈り申し上げます。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：6月25日（金）17:00～18:30

開催方法：Zoomによる開催

出席者：伊藤、大高、奥蘭、金子、古賀、古田

金子ワイズの司会で開始。行事予定及び7月総会を控え、各自が分担作成した総会資料の内容の相互確認を行った。

7月例会は久しぶりに対面集会形式で行われるが、臨席が困難な人はZoomでの参加になる。Zoom参加者が音声・映像の両面でどこまで臨場感が得られるか、懸念が全くないとは言えないが、それでも参加の恩恵は否定できない。

7月第一例会では、奥蘭さんと佐竹さんの入会式を行うことを確認した。8月例会は例年の納涼会は中止し、8月27日に第一例会を開催し、大江さんの中村哲氏についての卓話を、お願いすることにした。

総会資料は古賀書記準備の19-20年度事業結果報告に続いて、古田会長の19-20年度の活動評価、大高会計による19-20年度収支報告に続いて、20-21年度のクラブ活動方針が古賀新会長から、予算案が大高会計より開示された。

例会で指摘された修正・変更点を伊藤ワイズが再度まとめ直すこととして、例会は18:30閉会した。



担当主事 奥蘭 一紀

6月に入り、横浜YMCAの休業していた事業活動も少しずつ開始され、7月には健康教育プログラムも通常スケジュールで再開されます。日常生活が戻りつつありますが、感染防止対策を継続して、取り組まなければならないことから、ご来館されるすべての方に以下をお願いしております。

1. 発熱や風邪等の症状が見られる場合は、来館をお控えください。
2. 参加前には、自宅で必ず検温をしてください。
37.5度以上、という目安にとらわれず、平熱より高めの場合は体調等総合的にみて、ご判断ください。発熱だけでなく、のどの痛みや倦怠感、咳などがある場合は、無理せずご来館を見合わせてください。
3. マスク着用のご協力をお願いします。
4. 館内にあるアルコール消毒剤をご使用ください。
5. 家族で体調不良者及び感染者が出た場合は、参加をお控えいただきますようお願いいたします。

休業要請や移動自粛が全面解除となりましても、心の中がコロナの感染のことで占められ、不安の中でお過ごしの方も多くおられます。YMCAに集う子どもたち、学生などすべてのメンバーとともに、これから「新しい生活様式」の中で過ごしながらか、「つながりの回復」を目指すことが求められます。YMCAの活動のなかで生まれた笑顔や喜びを地域に広げることが、私たちの役割なのかなと感じています。

7月例会プログラム

日時：7月9日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA 606教室

司会：伊藤 誠彦

1. 開会点鐘及び挨拶 古賀会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 全員
3. 今月の聖句 佐竹ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 古賀会長
5. 部長公式訪問挨拶 古田部長
6. 入会式（奥蘭氏、佐竹氏）立会人：古田部長
7. 総会
8. キックオフ例会 古賀会長
9. 閉会点鐘 古賀会長

例会報告：大高 治

8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
07-09	金日	10:00	第27回AIDS文化フォーラム	Zoom
27	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA奥蘭一紀にご連絡下さい。

メール okuzono_kazuyoshi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★